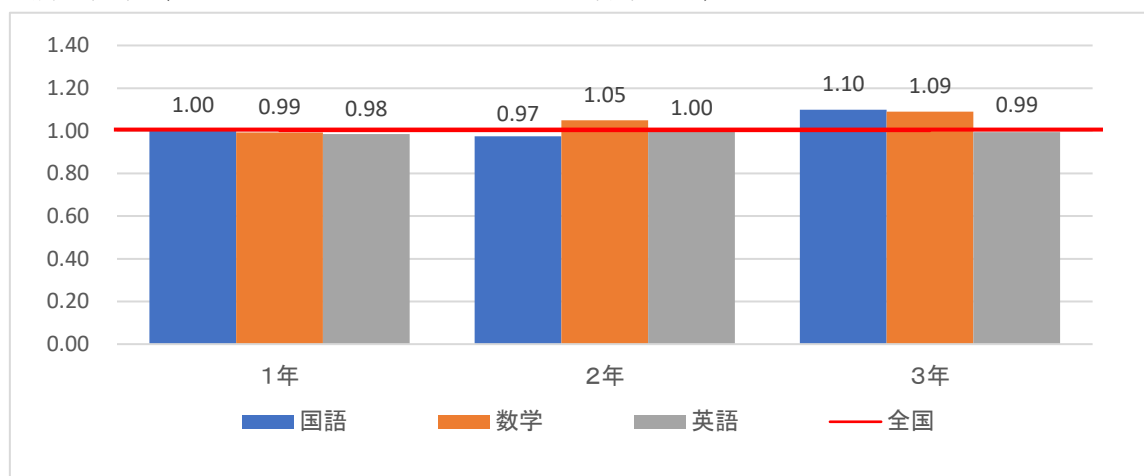


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第一中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は寝屋川市学習到達度調査

中学3年生は全国学力・学習状況調査（英語のみ寝屋川市学習到達度調査の結果）

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	1、2年生とも「話すこと・聞くこと」領域で全国平均を上回っていた。「書くこと」領域については、自分の考えを読み手に分かりやすく伝えるための表現方法や工夫を指導していく。
	数学	1、2年生とも「数と計算」領域で全国平均を上回っていた。「データの活用」領域について課題があり、データの傾向を的確に捉え、そのことを根拠として判断した理由を説明する学習活動を充実させていく。
	英語	2年生で「読むこと」領域が全国平均を上回っていた。1、2年生とも「聞くこと」領域について課題があり、英語を使った実際のコミュニケーション場面を多く設定し、生徒が英語に触れる機会の充実を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	全ての領域で全国平均を上回った。知識及び技能の「情報の扱い方に関する事項」については、条件をよく理解し、適切に読み取ることができるように指導していく。
	数学	全ての領域で全国平均を上回った。データに基づいて考察する場面では、データの特徴や分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断できるよう指導していく。
	質問紙	「自分には良いところがある。」85.0%、「先生はあなたの良いところを認めてくれる」94.3%と全国平均を上回った。今後もPBISの取組を更に進め、生徒の自己肯定感を育んでいく。

○学力向上の取組

【中学校区】

「考える力・伝える力の育成」をテーマに「聴いて、考えて、つなげる授業」の実践に取り組んでいる。PBISの手法を取入れた授業改善にも努めている。

【学校】

PBISの取組を進めながら子どもの自己肯定感を高めるとともに、学習意欲を向上させ、「自ら考える力」の育成に努めている。